

## 公表 保育所等訪問支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	アフタースクールスマイルステーション谷町		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 19日		2026年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	2026年 1月 19日		2026年 2月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○訪問先施設評価実施期間	2026年 1月 19日		2026年 2月 14日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 18日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	定期的に保護者と面談を行い、子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援をしている。	・学校での様子を保護者に詳しく報告するようにしている。	・指導員の専門性を高めるために講師を招待して研修を行う。
2	訪問先の学校に対して、助言や説明は具体的でわかりやすく、取り入れやすいものになっている。	・学校の様子を指導員同士でその都度共有し、支援内容を考え、学校の先生とお話するようにしている。	・引き続き事業所内の指導員で共有しながら支援内容を考え、学校と連携していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を十分に盛り込めていない。	個別支援計画の内容を訪問先と共有できていない。	個別支援計画を持参し、意見交換する。
2	訪問先からの相談等を受け、助言を行う機会が少ない。	訪問した際に近況を報告することが主なやり取りになっている。	子どもの課題解決に向けてすり合わせを具体的にを行うようにする。